

第3 企画研修係

1 教育研修

(1) 事業の目的

精神保健福祉行政を円滑に推進するため、精神保健福祉業務に従事する市町村、保健福祉事務所及び関係施設の職員等を対象に、資質や技術の向上を目的に基礎研修や専門研修等を実施した。

(2) 事業の実績

1) 一般研修

精神保健福祉基礎研修

対象	日程	内容・講師等	参加人数
新任の精神保健福祉担当者（市町村、公共職業安定所、障害者職業センター、保健福祉事務所、精神障害者支援事業所）	5/13 (木)	<p>こころの健康センター及び精神科救急情報センターの業務概要</p> <p>こころの健康センター次長 後藤 清乃</p> <p>精神保健福祉法の概要</p> <p>県障害政策課精神保健室長 荒木 淳子</p> <p>こころの病気を知ろう</p> <p>～統合失調症の理解と治療～</p> <p>こころの健康センター所長 浅見 隆康</p>	79
	5/14 (金)	<p>精神保健福祉に係る福祉制度の概要</p> <p>(障害者自立支援法の概要)</p> <p>こころの健康センター主幹 増田 さゆり</p> <p>日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の取り組み</p> <p>伊勢崎市社会福祉協議会専門員 南雲 邦道</p> <p>ユーザーからのメッセージ</p> <p>～生活障害(生活のしづらさ)について～</p> <p>相談支援事業所 ドアーズ</p> <p>所長(精神保健福祉士) 関根 英美</p> <p>ほかユーザーの方2名</p> <p>精神障害者家族の理解</p> <p>～家族に必要な支援について～</p> <p>・障がい者就業・生活支援センターメルシー</p> <p>生活支援員 小川 悦子</p> <p>・家族会(あゆみ会)会長 田島 茂</p>	79
			延 158

精神保健福祉専門研修

対 象	日 程	内 容・講 師 等	参 加 人 数
精神保健福祉 担当者（市町 村、障害者職 業センター、 保健福祉事務 所、指定相談 支援事業所）	7/29 （木）	・「統合失調症を抱える人たちへの支援」 こころの健康センター所長 浅見 隆康	109
	9/13 （月）	・「対応困難者にどう対応するか？パーソナリティー 障害を念頭に」 こころの健康センター技師長 芦名 孝一	109
	11/17 （水）	・「うつ病の理解とその対応」 こころの健康センター医長 木村 貴宏	51

精神保健福祉相談技術研修

対 象	日 程	内 容・講 師 等	参 加 人 数
精神保健福祉 相談援助に従 事する新任の 相談担当職員 等	6/29 （火）	・精神疾患と治療について こころの健康センター所長 浅見 隆康 ・群馬県における精神科救急情報センターの活動の実際 こころの健康センター救急支援第一係長 田仲富美子 ・精神障害者の福祉 県障害政策課精神保健室長 荒木 淳子	29
	7/9 （金）	・こころの健康センターの相談業務について こころの健康センター相談援助係長 依田 裕子 ・地域精神保健福祉相談の進め方と実際（相談の視点） こころの健康センター相談援助係主幹 増田 さゆり ・地域精神保健福祉相談の進め方と実際（演習） こころの健康センター職員（保健師）	30 延 59

精神保健福祉相談技術研修

対 象	日 程	内 容・講 師 等	参 加 人 数
精神保健福祉 相談援助に従 事する相談担 当職員等	12/16 （木）	・事例検討 参加者から事前提出された処遇困難事例（5例）に ついて、参加者及び従事者全員で問題点の確認や意 見交換し、今後の支援方法等について検討。 こころの健康センター 技師長 相原 雅子 " 保健師	5

2 広報普及活動

(1) 事業の目的

県民に対し、精神保健福祉に関する正しい知識の普及を図るため、各種の事業や広報媒体を通じ、全県的規模で広報普及活動を実施した。

(2) 事業の実績

1) 「こころの相談 Q & A」の新聞掲載

電話相談や来所相談で相談の多い事例について、毎月第2、第4月曜日に上毛新聞の「生活」面に掲載した。

掲載月	テ	マ
4月	・躁うつ病	まずは相談を
5月	・つらさや症状	聴いて ・心身不調なら相談を
6月	・息抜きの時間が大切	・精神科通院は一割負担
7月	・認知症の夫	車の運転は？
8月	・心病む息子	親の会は？
9月	・産後の変調	相談を
10月	・薬依存	家族で相談を ・精神保健、支援したい
11月	・思いやりで復職支えて	・時間外対応は輪番で
12月	・薬物依存の息子	対応は
1月	・自傷する生徒への対処	・統合失調症の薬 中止は？
2月	・金銭管理の支援は	
3月	・自分ねぎらい回復を	・産褥うつの可能性

2) 啓発事業の実施

地域での集会や関係機関・団体等で催される研修会・講演会に講師を派遣し、精神保健福祉に関する正しい知識の普及に努めた。

派遣先別

講師派遣先団体等	講師派遣数 (回)	受講者数 (人)	備考
保健福祉事務所	8	219	
市町村	15	601	高崎市 他
関係団体	24	1162	太田市社協 他
計	47	1982	

テーマ別

テ　　マ	講師派遣数 (回)	受講者数 (人)	派遣講師の職種
メンタルヘルス	11	561	医師
精神保健福祉一般	25	1235	医師
薬物・アルコール依存症	3	66	医師
児童思春期	1	106	医師
脳の健康チェック等	6	10	保健師
こころの相談の概要	1	4	心理士
計	47	1982	

3) ホームページ

当センターの事業の紹介や案内、統計資料の公表をホームページにより行った。

4) ビデオテープ・図書等の貸出(貸し出し不可の書籍等も含む)

ビデオテープ・DVD 全本数 173本

蔵 書 全冊数 1,110冊

3 心の健康づくり事業

(1) 事業の目的

現代社会が抱える精神保健福祉に関わる諸問題をわかりやすく取り上げ、県民に対する精神保健福祉の知識の普及や意識の高揚を図るため、昨年度に引き続き「こころの県民講座」を開催した。

(2) 開催状況

1) テーマ 「子どものこころ～子どもたちが求めているもの、関わりについて～」

期 日 平成22年11月21日(日)

会 場 群馬県生涯学習センター 多目的ホール

講 師 小倉 清(クリニックおぐら院長)

参加者 173名

2) テーマ 「こころの元気を取り戻そう!

～みんなですすめるこころの健康づくり～」

期 日 平成23年1月29日(土)

会 場 群馬会館 ホール

講 師 福田 正人(群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学 准教授)

参加者 255名

4 もの忘れ検診事業

(1) 事業の内容

もの忘れ検診事業は、平成13年度から認知症の早期発見と早期診断・治療のネットワークの構築を目的に、「群馬県もの忘れ検診プロジェクト委員会」(県医師会、群馬大学、県介護高齢課、こころの健康センター)により開始され、こころの健康センターが協力し、市町村で行う「集団検診」と医師会が行う「個別検診」が「モデル事業」としてスタートした。

平成17年度からは「群馬県在宅要援護者総合支援事業の特別支援事業である認知症予防対策事業」として県単独の補助事業となり、市町村が実施できるようになった。こころの健康センターは市町村からの依頼を受け、実施市町村への技術支援を行った。

平成23年度から認知症対策事業を一元化するため、介護高齢課内に「認知症・地域支援係」が新設され、もの忘れ健診事業は平成22年度で終了となった。

(2) 事業の実績

1) 市町村支援(平成22年度みどり市もの忘れ検診の実施状況)

	みどり市			合計 (人)
	大間々町 (人)	笠懸町 (人)	東町 (人)	
脳の健康度チェック被験者	839	583	282	1,704
MMSE被験者(率)	69	72	31	172(10.1%)
MMSE陽性者(率)	7	4	6	17(1.0%)
1)異常なし	1	1	1	3
2)かかりつけ医での経過観察	2	3	1	6
3)専門医にて要精検	1	0	1	2
A D	1	0	1	2
A D疑い	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
未受診等	0	0	0	0
経過観察	0	0	0	0

(注) A Dはアルツハイマー型認知症の略

2) 研修事業

認知症患者数が2035年には376万人に上るという厚生労働省予測を踏まえ、認知症の相談や診断を行う医療機関が必要となる。そのため全国に先駆けて、平成14年度から群馬県医師会・群馬県介護高齢課と共催で、医療機関に協力を要請して専門医の数を増やすと共に、認知症の鑑別診断や治療技術の向上を図る目的で、研修会を開催した。

もの忘れ検診鑑別診断専門医研修（群馬県認知症疾患研修会）

対象	日程	内容・講師等	参加人数
医師 (専門医)	H23年 3/13(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・「群馬県もの忘れ検診の現状とその意義」 群馬県医師会理事 川島 崇 ・「認知症と精神疾患」 群馬大学医学部附属病院精神科講師 米村 公江 ・「ここまできた認知症疾患の画像解析と病態メカニズム」 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 研究所附属診療所長 石井 賢二 ・「認知症高齢者対策について」 群馬県健康福祉部介護高齢課次長 浅田 均 	68

かかりつけ医研修（もの忘れ研修事業研修会）

対象	日程	内容・講師等	参加人数
医師 医療保健福 祉関係者等	H23年 2/6(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・「群馬県もの忘れ検診の現状とその意義」 群馬県医師会理事 川島 崇 ・「認知症の早期診断と治療 - 群馬県認知症疾患医療センターの今後の活動に向けて - 」 群馬大学医学部神経内科講師 池田 正樹 ・「認知症高齢者対策について」 群馬県健康福祉部介護高齢課長 塚越 日出男 	117

5 若年認知症家族支援

(1) 事業の目的

若年認知症は、治療法が確立されておらず、働き盛りで発症するため、当事者や家族の心理的落ち込みはもちろん、収入の途絶や家事や子育て等の問題も生じる。また、介護保険が利用可能であっても、施設側にとって受け入れが難しいことや当事者が高齢者施設になじめない等の問題があるため、家族は情報も乏しく孤立しがちとなっている。このため、当事業は相談や家族の交流の場を設けることにより、家族の孤立や、介護で燃えつきることを防止し、生活の質の向上を図ることを目的としている。

(2) 事業の実績

1) 家族会支援

若年認知症ぐんま家族会（設立：平成18年6月28日）

月1回第3月曜日に開催。

スタッフ：精神科医師、保健師2名、家族会賛助会員、ボランティア（介護支援専門員・社会保険労務士・看護師）

内 容：ミニ講話、学習会、家族・当事者フリートーク、個別相談

月 日	内 容	人 数	備 考
H22.4.19	役員会（平成22年度事業について）	9	
H22.5.17	H22年度総会 講演「若年認知症対策の動向について」 南魚沼市立ゆきぐに大和病院長 宮永 和夫	32	
H22.6.21	役員会、交流会、個別相談	23	
H22.8.16	学習会「福祉制度の利用について」 交流会、個別相談	19	
H22.10.18	交流会、個別相談	26	
H22.10.31	交流会（芋掘り会：徳江会長）	10	家族会主催
H22.11.15	交流会、実態調査について（障害政策課） 個別相談	25	
H22.12.19	第1回若年認知症フォーラム 桐生市文化会館	18	家族会主催
H22.12.20	交流会、個別相談 学習会「障害年金について」 社会保険労務士 前田 良子 事業紹介「はるな夢工房について」 榛名荘デイサービスセンター 山川 ゆり	18	
H23.1.17	交流会、個別相談 学習会「介護保険の使い方」	14	
H23.2.21	交流会、「全国の集いについて」、個別相談	19	

「若年認知症ぐんま家族会だより」の発行 1回

家族会の普及啓発活動

H22.6.5 (社)群馬県介護福祉士会シンポジウム講師(大沢)

H22.10.5 ぐんま認知症アカデミー第5回秋の研究発表会講師(徳江)

H22.10.19 第1回若年認知症ぐんま家族会フォーラム(徳江、大沢)

H22.10.27 群馬県小規模多機能グループホーム大会講師(徳江)

2) 若年認知症相談

来所相談：月1回第3木曜日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	1	1	1		1		3	0	1	1	0	

6 関係機関との連携及び組織の育成

(1) 組織の育成

1) 群馬県精神障害者家族会連合会（通称 群馬つつじ会）への支援

群馬県精神障害者家族会連合会は、県内の各家族会の連合会として昭和62年6月に発足し、群馬県内の精神障害者の社会復帰、医療、福祉及び社会的理解の向上を図るための地区家族会活動との連携や、また、家族同士が支え合い語りあうことや障害特性・制度等の学習を通じて会員への啓発や交流を図っている。

支援内容

役員会、理事会において、家族会運営や事業企画等への助言を行った。

県内家族会 17家族会 会員数459人

平成23年3月31日現在

会の名称	事務局所在地	会員	設立年月
あゆみ会	伊勢崎市東町2657 あゆみ作業所	10	昭 41. 4
やよい会	伊勢崎市境女塚2883-12 福社会館	24	昭 48. 4
ひとつばな会	甘楽郡南牧村大字大日向1098 南牧村役場	4	昭 53.11
のびる会	伊勢崎市国定町2-2374 県立精神医療センター	40	昭 61. 5
ひまわりの会	太田市長手町26 麦の家	20	昭 61. 5
ポプラの会	高崎市内 (会長宅)	53	昭 63. 4
たけのこ会	館林市大街道1-2-5 地域生活支援センター若草	61	平 2. 3
プラムの会	安中市中宿124-15 地域生活支援センターヌアリーベ	5	平 2. 5
いずみ会	渋川市渋川113-8 障害者センター	32	平 4. 4
よつば会	伊勢崎市下植木町499 伊勢崎保健福祉事務所	9	平 6. 7
わたらせ虹の会	桐生市元宿町9-38 虹の作業所	41	平 7.12
あざみ会	前橋市日輪寺町176-1 地域生活支援センターピアーズ	80	平 8. 4
あおぞら会	沼田市東原新町1801-40 あおぞら作業所	29	平 8. 5
もみじ会	富岡市七日市356-1 プレパレ	17	平 10.10
しらかば会	中之条町五反田3891 しらかば作業所	11	平 11. 3
みさと会	高崎市箕郷町西明屋1030-6 みさと会	10	平 16. 6
冬櫻会	藤岡市中栗須327 藤岡市福祉課	13	平 21. 4

群馬県精神障害者家族会連合会の主な活動

月	活 動 内 容	備 考
5月	・第24回定期総会	場所：群馬勤労福祉センター 出席者：66名
9月	・つつじ会・作業所合同研修会 講演「こころの健康施策構想会議と 構想実現会議について」 講師 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学准教授 福田 正人	場所：群馬勤労福祉センター 出席者：84名
10月	第1回家族相談会開催 (富岡管内：相談件数 16件)	場所：富岡保健福祉事務所
12月	障害者作品展協力	県庁1階県民ホール
23年 1月	リーダー研修会開催 講演「伊勢田 堯先生を迎えて こころの健康施策構想実現会議 - この1年の活動から - 講師 精神科医師 伊勢田 堯 「群馬つつじ会だより 第21号」発行	場所：前橋市総合福祉会館 出席者：63名
2月	第2回家族相談会開催 (伊勢崎管内：相談件数 12件)	場所：伊勢崎保健福祉会館

2) 群馬県精神保健福祉ボランティア連絡協議会（通称 東風の会）への支援

群馬県精神保健福祉ボランティア連絡協議会は、県内のボランティアグループの連合組織として平成17年4月に発足した。精神保健福祉の向上に寄与するため、各地域での精神保健福祉活動に対し、関係機関との連携を図りながらボランティア活動を展開している。

支援内容

平成20年度以降は、障害者自立支援法でボランティア養成が市町村の業務として位置づけられていることと、東風の会の活動も定着化してきたことから当センターの直接的支援は終了し、講師派遣や研修会での支援を行った。

県内精神保健福祉ボランティアグループ 11グループ 会員数272人
平成23年3月31日現在

グループの名称	事務局所在地	会員	設立年月
こぶしの会	太田市西本町41-34 太田保健福祉事務所	20	平5.4
たんぽぽの会	渋川市金井394 渋川保健福祉事務所	18	平11.4
吾妻郡精神保健ボランティア連絡協議会一本の手	吾妻郡中之条町内(代表者宅)	22	平12.4
やよい会	高崎市内(代表者宅)	43	平14.4
れんがの会	富岡市田島343-1 富岡保健福祉事務所	9	平15.4
めぶきの会	藤岡市下戸塚2-5 藤岡保健福祉事務所	25	平17.4
そよ風	伊勢崎市境上武士972-1 伊勢崎市社会福祉協議会境支所	34	平18.7
まゆだま	沼田市内(代表者宅)	17	平19.5
陽だまり	館林市苗木町2452-1 館林市社会福祉協議会	45	平20.4
ほほえみの会	前橋市朝日町3-36-17 前橋市保健所健康増進課	21	平22.4
太陽の会	桐生市織姫町1-1 桐生市保健福祉部福祉課	18	平22.10

3) 精神保健福祉協会との連携

群馬県精神保健福祉協会は、群馬大学を中心として設立準備が進められ、関係団体の意見交換を経て、平成14年3月26日に設立された。当協会は、県民の精神保健福祉の向上を図ることを目的に、県民と地域社会の「こころの健康づくり」の推進をめざし、精神保健福祉に関する知識の普及・啓発、情報の収集・発信、精神障害者への理解を深めるための活動及び精神障害者の社会参加の推進など、会員の幅広い人材を活かした活動を行っている。こころの健康センターでは、各種事業の運営等支援を行っている。平成22年度の主な活動内容は下表のとおりである。

会員 団体会員：50団体 個人会員：180人（平成23年3月31日現在）

活動内容

月	活 動 内 容	備 考
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回理事会 ・定期総会 ・講演会及びシンポジウム <ul style="list-style-type: none"> 講演1：「精神障害をもつ方々の地域生活支援」 講 師：日本福祉大学社会福祉学部保健福祉学科 教授 野中 猛 講演2：「精神障害者ピアサポートの活躍と専門家との協同」 講 師：フリーソーシャルワーカー・精神保健福祉士 武田牧子 テーマ：「ピアサポートの実践」 座 長：日本福祉大学社会福祉学部保健福祉学科 教授 野中 猛 シポジスト：武田牧子、当事者3名 ・第10回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技(精神障害者部門)関東ブロック予選会へのチーム派遣 	<p>県勤労福祉センター</p> <p>千葉県</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回心の輝きスポーツ大会(バレーボール競技) 	ぐんまアリーナ
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回理事会 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・こころのふれあい・バザー展 講演会、演奏会、スポーツチャンバラ、展示・販売会等 <講演会> 演 題：「地域で自殺のサインに気づき、見守り、つなぐために」 講 師：帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科 教授 張 賢徳 	県庁

月	活 動 内 容	備 考
9月	・第1回「こころの電話相談」	
10月	・広報・普及担当理事会	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回「こころの電話相談」 ・こころのふれあい研修会 <ul style="list-style-type: none"> 講演1：「家族による家族学習会」 講 師：精神障害者家族会「あざみ会」 岡崎英一 講演2：「サロンを通じて当事者を支援する」 講 師：精神保健福祉ボランティア「たんぼぼの会」 中村稔子 講演3：「地域におけるこころの健康づくり」 講 師：群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学准教授 福田正人 	県庁
12月	・「群馬県精神保健福祉協会だより」第15号発行	900部
23年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第25回こころの県民講座 テーマ：「こころの元気を取り戻そう！ ～みんなですすめるこころの健康づくり～」 演 題：「自分でできること 社会ができること」 講 師：群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学准教授 福田正人 	群馬会館ホール
2月	・第3回「こころの電話相談」	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回理事会 ・「群馬県精神保健福祉協会だより」第16号発行 	1000部

* 心の輝きスポーツ大会は協会と群馬県との共催、こころのふれあい・バザー展及びこころのふれあい研修会は協会と群馬メンタルヘルスネットワーク等との共催、こころの県民講座は協会と県こころの健康センターとの共催である。